

月例統計報告（令和2年5月）

令和2年5月29日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和2年5月1日現在））

本県の総人口は、956,093人（男 449,740人 女 506,353人）
前月に比べ、253人（0.03%）減少
自然増減 868人の減少（出生者 396人 死亡者 1,264人）
社会増減 615人の増加（県内への転入者 2,106人 県外への転出者 1,491人）
この1年間では、14,403人（1.48%）の減少

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和2年3月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 106.2 : 前月比 2.5%低下（4か月ぶりの低下）
原指数 112.8 : 前年同月比 7.4%上昇
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 95.8 : 前月比 3.7%低下

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和2年3月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 231,463円 : 前月比 3.4%増、前年同月比 1.5%減
総実労働時間 144.8時間 : 前月比 0.6%増、前年同月比 1.8%減
常用雇用指数 100.5（平成27年=100）
: 前月比 0.6%減、前年同月比 0.3%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（令和2年3月分））

秋田市消費者物価指数 102.4（平成27年=100）
前月比 0.1%下落、前年同月比 同水準
全国の消費者物価指数 101.9（平成27年=100）
前月比 同水準、前年同月比 0.4%上昇

(4) 景気動向（景気動向指数（令和2年3月分））

先行指数 92.9 前月と比較して横ばい
一致指数 80.8 前月を4.7ポイント下回り、4か月ぶりに下降
遅行指数 96.5 前月を1.6ポイント下回り、3か月連続で下降

3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）

6~7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(令和2年5月1日現在)」)

(1) 令和2年5月1日現在の本県の総人口は956,093人(男 449,740人 女 506,353人)となり、前月に比べ253人(0.03%)の減少となった。

自然増減 868人の減少(出生者 396人 死亡者 1,264人)

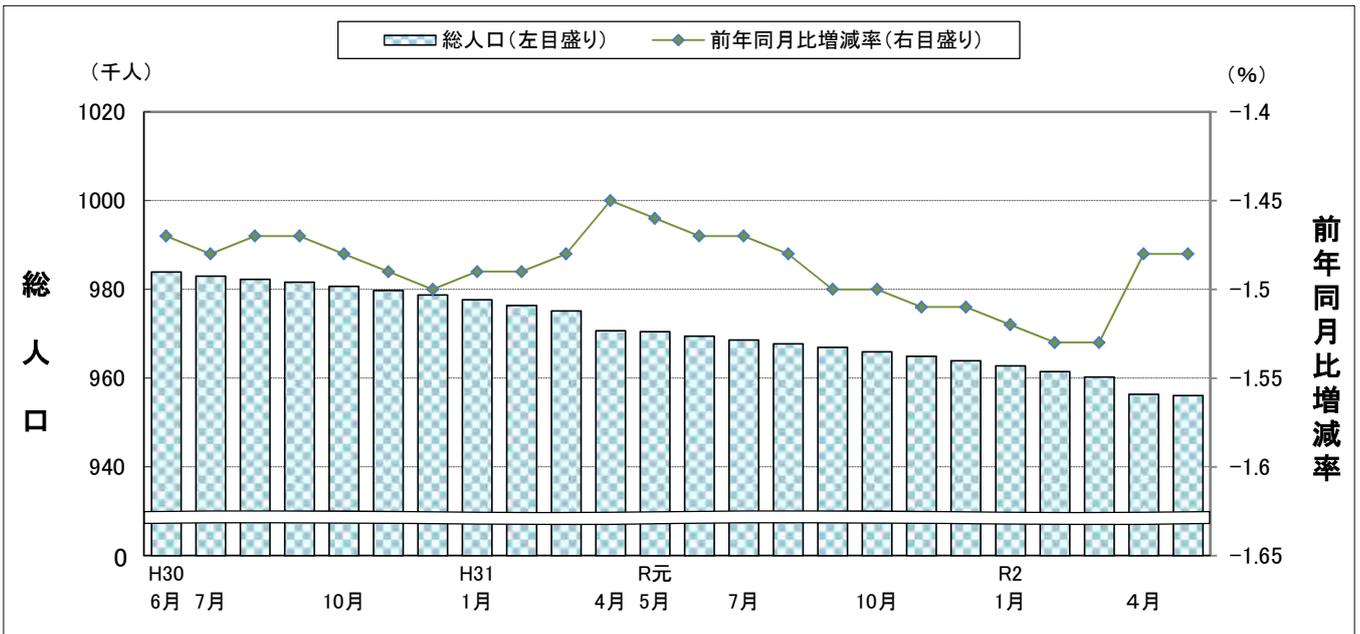
社会増減 615人の増加(県内への転入者 2,106人 県外への転出者 1,491人)

(2) この1年間では、14,403人(1.48%)の減少となった。

自然増減 11,132人の減少(出生者 4,633人 死亡者 15,765人)

社会増減 3,271人の減少(県内への転入者 12,561人 県外への転出者 15,832人)

(3) 世帯数は389,631世帯となり、前月に比べ1,226世帯の増加となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H30.10.1 ~ R元.9.30	4,863	15,703	-10,840	12,618	16,535	-3,917	-14,757
R元. 5月 一か月間	426	1,365	-939	848	943	-95	-1,034
6月 "	389	1,138	-749	706	839	-133	-882
7月 "	459	1,257	-798	1,067	1,109	-42	-840
8月 "	385	1,268	-883	1,076	969	107	-776
9月 "	396	1,208	-812	787	1,012	-225	-1,037
10月 "	394	1,351	-957	780	818	-38	-995
11月 "	361	1,413	-1,052	769	713	56	-996
12月 "	353	1,401	-1,048	684	787	-103	-1,151
R2. 1月 "	380	1,529	-1,149	602	734	-132	-1,281
2月 "	331	1,235	-904	643	972	-329	-1,233
3月 "	363	1,336	-973	2,493	5,445	-2,952	-3,925
4月 "	396	1,264	-868	2,106	1,491	615	-253
過去1年間の累計	4,633	15,765	-11,132	12,561	15,832	-3,271	-14,403

(参考)

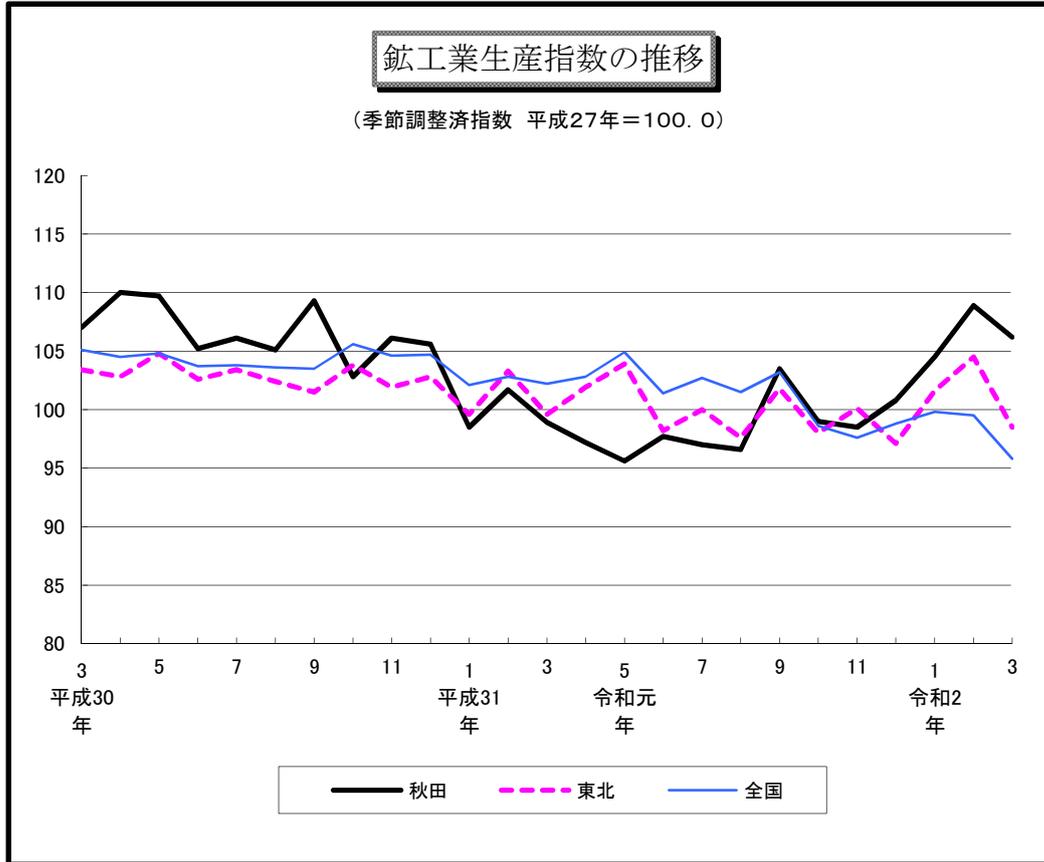
H31. 4月 一か月間	403	1,308	-905	2,507	1,808	699	-206
--------------	-----	-------	------	-------	-------	-----	------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和2年3月分)」)

令和2年3月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が106.2(前月比2.5%減)となり、4か月ぶりに低下した。また、原指数は112.8となり、前年同月と比べ7.4%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は95.8となり、前月比で3.7%の低下となった。また、東北は98.5となり、前月比で6.0%の低下となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
食料品工業	171.0	4.0	清酒、冷凍調理食品
化学工業	147.6	5.2	医薬品原薬、複合肥料
電気・情報通信機械工業	124.5	48.2	陸上移動用通信装置
□低下した主な業種			
汎用・業務用機械工業	111.7	▲ 31.3	コンベヤ

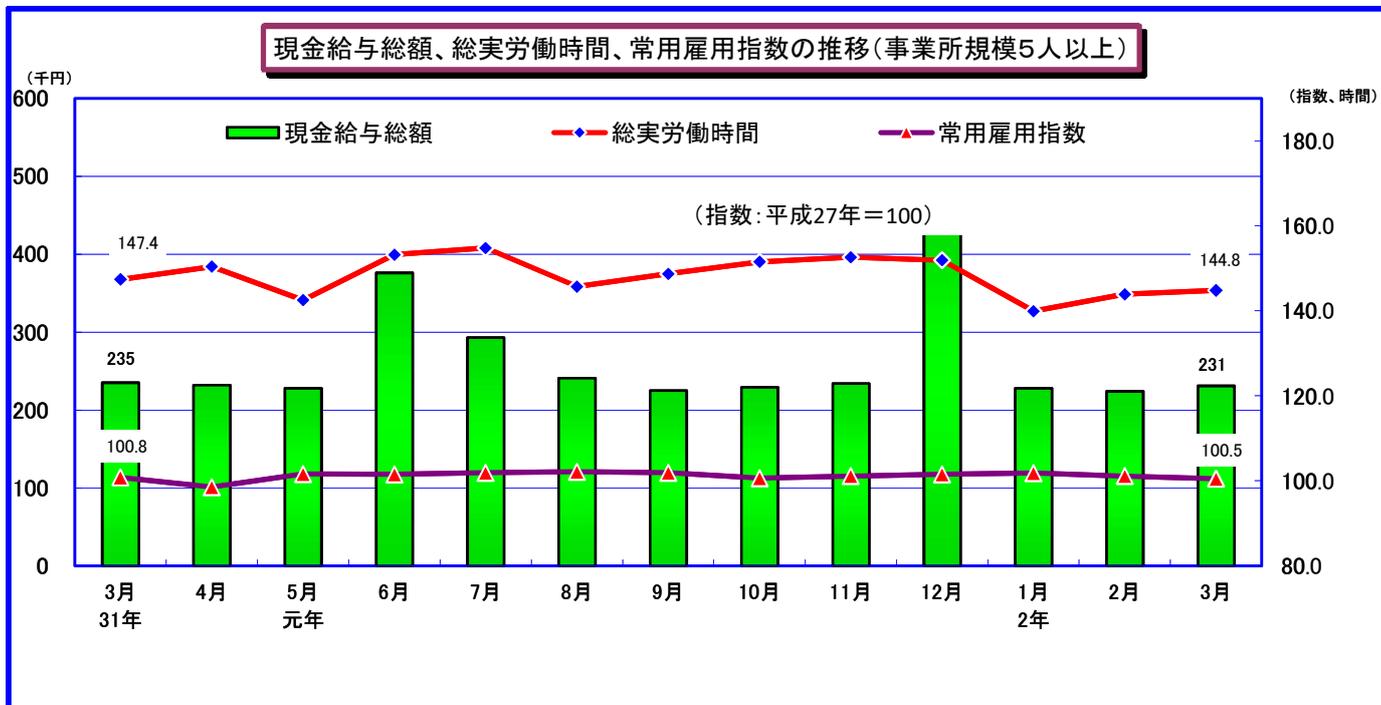
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和2年3月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和2年3月の現金給与総額は231,463円となり、前月比で3.4%の増、前年同月と比べ1.5%の減となった。

総実労働時間数は144.8時間となり、前月比で0.6%の増、前年同月と比べ1.8%の減となった。

常用雇用指数は100.5となり、前月比で0.6%の減、前年同月と比べ0.3%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
運輸業、郵便業	323,007	23.5
情報通信業	316,836	18.9
宿泊業、飲食サービス業	132,901	17.6
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
医療、福祉	231,585	▲ 16.1
学術研究、専門・技術サービス業	281,872	▲ 14.8
卸売業、小売業	174,056	▲ 14.1

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
教育、学習支援業	136.8	8.5
建設業	168.9	6.4
減少した主な産業	時間	前年比(%)
情報通信業	150.7	▲ 18.0
医療、福祉	128.8	▲ 10.7
卸売業、小売業	132.5	▲ 6.3

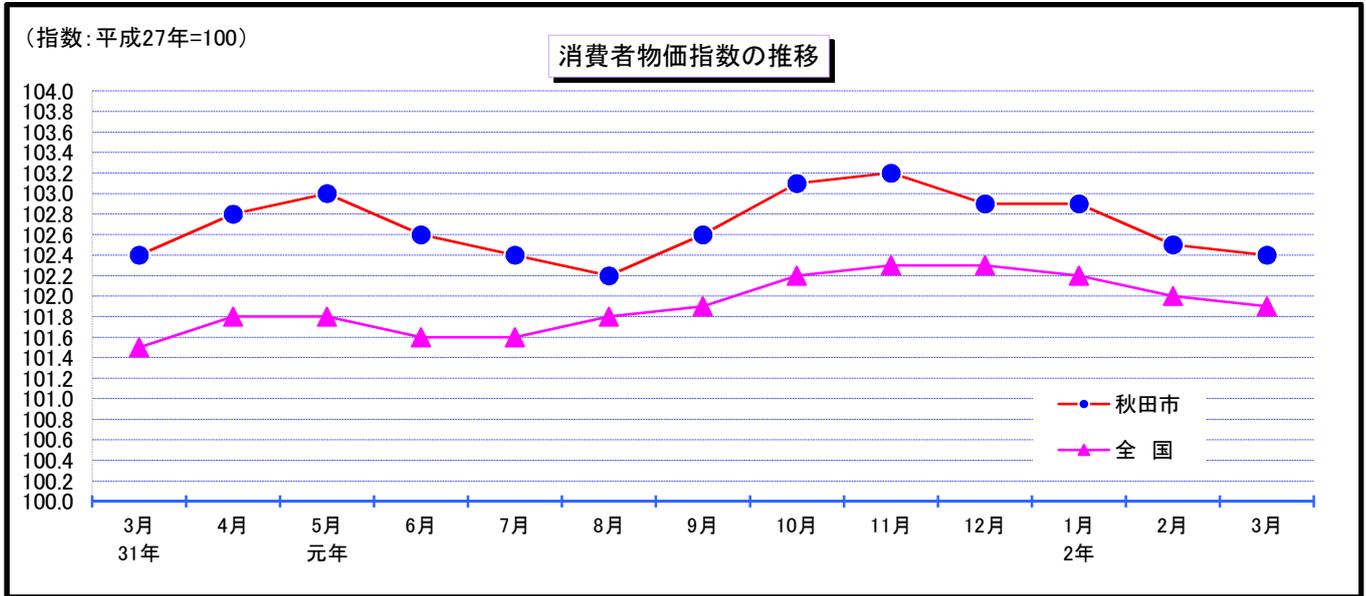
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	127.8	21.9
情報通信業	144.2	10.3
減少した主な産業	指数	前年比(%)
教育、学習支援業	86.7	▲ 10.8
学術研究、専門・技術サービス業	90.0	▲ 10.5

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和2年3月分)」)

令和2年3月の秋田市消費者物価指数は102.4(平成27年=100)となり、前月比で0.1%の下落、前年同月比で同水準となった。

なお、全国の消費者物価指数は101.9となり、前月比(季節調整値)で同水準、前年同月と比べ0.4%の上昇となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	食料				住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒を除くエネルギーを除く総合)												
当月指数	102.4	102.4	102.2	101.0	105.5	103.1	106.0	100.6	103.7	97.5	101.5	105.5	99.9	103.6	104.4	97.1
前月比(%)	-0.1	-0.1	0.1	0.1	0.1	-0.3	0.2	0.0	-0.8	0.3	-0.1	0.6	-0.9	0.0	0.1	0.1
前年同月比(%)	0.0	0.0	0.3	-0.1	1.0	-0.5	1.4	0.8	-0.4	-1.8	-1.8	0.7	0.0	-6.0	1.4	-5.5

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	外食	3.0	0.13
住居	設備修繕・維持	6.9	0.20
教養娯楽	書籍・他の印刷物	7.9	0.10

〔下落〕

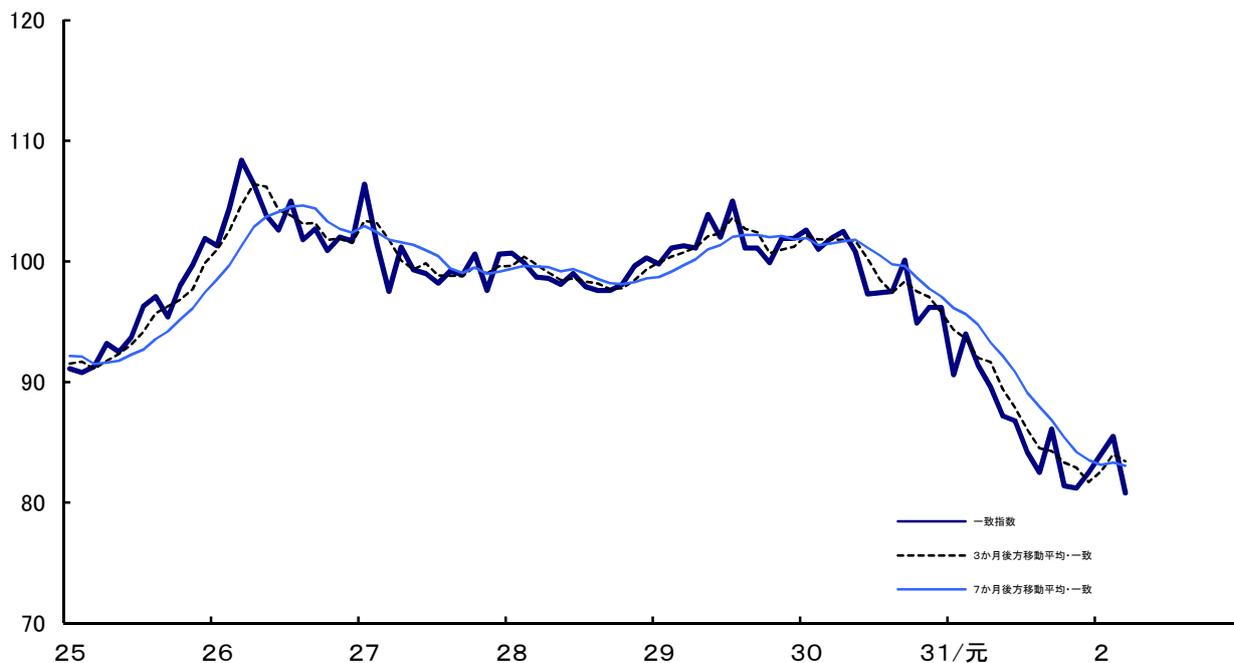
10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
諸雑費	他の諸雑費	▲16.0	▲0.39
教育	授業料等	▲11.0	▲0.10
被服及び履物	シャツ・セーター類	▲8.6	▲0.06

※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和2年3月分)」)

先行指数 92.9 前月と比較して横ばいとなった。
 一致指数 80.8 前月を4.7ポイント下回り、4か月ぶりに下降した。
 遅行指数 96.5 前月を1.6ポイント下回り、3か月連続で下降した。

一致指数のグラフ (平成27年=100)



年

○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.39	1.37	-0.02	-0.76
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	5.8	7.3	1.50	-0.18
所定外労働時間指数(27年=100)	104.7	104.7	0.00	0.01
鉱工業生産指数(27年=100)	108.9	106.2	-2.48	-0.50
生産財生産指数(27年=100)	98.7	97.6	-1.11	-0.18
百貨店・スーパー販売額(%)	2.1	-5.5	-7.60	-1.17
投資財生産指数(27年=100)	121.9	107.9	-11.48	-1.21
建築着工床面積(千㎡)	76	59	-22.37	-0.78
CI 一致指数(全体値)	85.5	80.8	-4.7	

景況ダイジェスト（令和2年5月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																															
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和2年5月25日公表	<p>〔概況〕県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が拡がっており、厳しい状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要面をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、落ち込んでいる。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、高めの水準となっている。 ・生産は、減少している。 ・雇用・所得環境は、弱めの動きがみられている。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った。 																																																															
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和2年3月分 令和2年5月18日公表	<p>〔概況〕県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が広がっており、個人消費は足踏みが続く、製造業やサービス業では弱い動きとなっている。</p> <p>製 造 業：一部好調な動きがみられるものの、電気機械や輸送機械を中心に落ち込みがみられ、全体としては弱含みの動きが続いている。</p> <p>建 設 業：公共投資は2か月連続で前年同月を上回った。</p> <p>小 売 業：新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みがみられるものの、飲食料品は堅調に推移している。</p> <p>サービ 業：新型コロナウイルス感染症の影響から、旅館・ホテルが悪化し、全体としては弱めの動きが続いている。</p> <p>〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲37.8から▲33.1、現在の資金繰りは▲22.4から▲26.1、3か月前の業況見通しは▲35.9から▲60.5となっている。</p>																																																															
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和2年3月分 令和2年5月号	<p>〔概況〕県内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響などから、弱い動きとなっている</p> <p>電子部品、機械金属の生産は弱い動きとなっているほか、木材も荷動きが鈍化している。建設は、公共工事が増加基調で推移しているが、住宅着工は一進一退の動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は高水準を維持しているが、改善の動きが弱まっている。</p>																																																															
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和2年5月号	<p>〔県内経済概況〕足元は後退懸念が強まる県内経済</p> <p>最近の県内経済は、公共投資が引き続き増加傾向を維持しているものの、住宅投資は消費税増税の影響が残り減少傾向を辿っています。また、足元の個人消費は一部に増加が見られますが、全体としては依然弱含みで推移しています。この間、生産活動は総じて弱めの動きが続いており、雇用情勢は依然高水準ながら改善が一服するなど、県内経済は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、足元は後退懸念が強まっています。</p>																																																															
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和2年3月分 令和2年4月28日公表	<p>〔概況〕令和2年3月の有効求人倍率（季節調整値）は1.37倍。前月を0.02ポイント下回る。（全国平均は1.39倍、前月を0.06ポイント下回る。）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて3.5%減少、有効求職者数（同）は2.0%減少した。</p> <p>① 新規求人数は9,403人、前年同月比3.1%（305人）減少。同比11か月連続で減少した。</p> <p>② 有効求人数は23,224人、前年同月比10.5%（2,738人）減少。同比13か月連続で減少した。</p> <p>③ 新規求職者数は4,665人、前年同月比2.0%（93人）減少。同比6か月連続で減少した。</p> <p>④ 有効求職者数は17,103人、前年同月比1.3%（217人）減少。同比5か月連続で減少した。</p>																																																															
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和2年4月度 令和2年5月7日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="text-align: center;">倒産件数</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">負債総額</td> <td style="text-align: center;">5億6,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月比</td> <td style="text-align: center;">+150.00%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">+252.20%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前年同月</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1億5,900万円</td> </tr> </table> <p>倒産件数は過去11番目に少ない件数、負債総額は過去12番目に少ない負債総額</p>		倒産件数	5件	負債総額	5億6,000万円		前年同月比	+150.00%		+252.20%		前年同月	2件		1億5,900万円																																																
		倒産件数	5件	負債総額	5億6,000万円																																																												
		前年同月比	+150.00%		+252.20%																																																												
	前年同月	2件		1億5,900万円																																																													
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和2年4月分 令和2年5月13日公表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">[業界判断指数]単位：％P</th> <th>業界全体</th> <th>製造業</th> <th>非製造業</th> <th>売上高</th> <th>収益状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月分DI</td> <td>-67.5</td> <td>-75.0</td> <td>-62.5</td> <td>-68.8</td> <td>-69.1</td> </tr> <tr> <td>4月分DI</td> <td>-76.7</td> <td>-83.3</td> <td>-72.2</td> <td>-71.6</td> <td>-71.7</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>-9.2</td> <td>-8.3</td> <td>-9.7</td> <td>-2.8</td> <td>-2.6</td> </tr> </tbody> </table>	[業界判断指数]単位：％P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況	3月分DI	-67.5	-75.0	-62.5	-68.8	-69.1	4月分DI	-76.7	-83.3	-72.2	-71.6	-71.7	比較増減	-9.2	-8.3	-9.7	-2.8	-2.6																																								
[業界判断指数]単位：％P	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																																																												
3月分DI	-67.5	-75.0	-62.5	-68.8	-69.1																																																												
4月分DI	-76.7	-83.3	-72.2	-71.6	-71.7																																																												
比較増減	-9.2	-8.3	-9.7	-2.8	-2.6																																																												
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和2年4月分 令和2年5月21日公表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成31年4月</th> <th colspan="2">令和2年4月</th> <th colspan="2">対前年度増減率(%)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> <th>件数</th> <th>請負金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: left;">発注者</td> <td>国</td> <td>47</td> <td>4,811</td> <td>64</td> <td>6,399</td> <td>36.2</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人等</td> <td>5</td> <td>352</td> <td>7</td> <td>2,260</td> <td>40.0</td> <td>541.5</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>198</td> <td>11,974</td> <td>164</td> <td>11,365</td> <td>-17.2</td> <td>-5.1</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>80</td> <td>7,043</td> <td>69</td> <td>6,665</td> <td>-13.8</td> <td>-5.4</td> </tr> <tr> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>8</td> <td>1,924</td> <td>1</td> <td>4,290</td> <td>-87.5</td> <td>122.9</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>338</td> <td>26,106</td> <td>305</td> <td>30,980</td> <td>-9.8</td> <td>18.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>対前年度増減率 件数33件減少、請負金額18.7%増加 (金額単位：百万円)</p> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	区分		平成31年4月		令和2年4月		対前年度増減率(%)		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	発注者	国	47	4,811	64	6,399	36.2	33.0	独立行政法人等	5	352	7	2,260	40.0	541.5	県	198	11,974	164	11,365	-17.2	-5.1	市町村	80	7,043	69	6,665	-13.8	-5.4	地方公社	0	0	0	0	-	-	その他※	8	1,924	1	4,290	-87.5	122.9	合 計	338	26,106	305	30,980	-9.8	18.7
区分				平成31年4月		令和2年4月		対前年度増減率(%)																																																									
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額																																																										
発注者	国	47	4,811	64	6,399	36.2	33.0																																																										
	独立行政法人等	5	352	7	2,260	40.0	541.5																																																										
	県	198	11,974	164	11,365	-17.2	-5.1																																																										
	市町村	80	7,043	69	6,665	-13.8	-5.4																																																										
	地方公社	0	0	0	0	-	-																																																										
	その他※	8	1,924	1	4,290	-87.5	122.9																																																										
	合 計	338	26,106	305	30,980	-9.8	18.7																																																										

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和2年4月27日公表	項目	内容							
		総括判断	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある							
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている							
		生産活動	弱含んでいる							
		雇用情勢	改善のテンポが緩やかになっている							
		設備投資	元年度は増加見込み							
		企業収益	元年度は減益見込み							
		企業の景況感	「下降」超幅拡大							
		住宅建設	前年を下回っている							
		公共事業	前年度を上回っている							
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2020年3月調査 令和2年4月1日公表	[業況判断D I] 単位：%ポイント	2019年	2020年	2020年		2020年				
		12月	3月	変化幅	6月(予測)	変化幅				
		全産業	-4	-15	-11	-23	-8			
		製造業	-8	-14	-6	-24	-10			
	非製造業	-1	-16	-15	-22	-6				
東北	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和2年4月27日公表	項目	内容							
		総括判断	管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある							
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている							
		生産活動	弱含んでいる							
		雇用情勢	改善のテンポが緩やかになっている							
		設備投資	元年度は増加見込み							
		企業収益	元年度は減益見込み							
		企業の景況感	「下降」超幅が拡大							
		住宅建設	前年を下回っている							
		公共事業	高水準となっている							
全国	月例経済報告 内閣府 令和2年4月 令和2年4月23日公表	<p>景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、感染症の影響により、急速に減少している。 ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。 ・住宅建設は、弱含んでいる。 ・公共投資は、底堅く推移している。 ・輸出は、感染症の影響により、このところ減少している。 ・輸入は、感染症の影響により、このところ減少している。 ・貿易・サービス収支は、黒字となっている。 ・生産は、感染症の影響により、減少している。 ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。 ・企業の業況判断は、感染症の影響により、急速に悪化している。 ・倒産件数は、このところ増加がみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、足下では弱い動きが見られる。 ・国内企業物価は、このところ緩やかに下落している。 ・消費者物価は、このところ横ばいとなっている。 <p>先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>								
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和2年3月調査分 令和2年4月1日公表	[業況判断D I] 単位：%ポイント	〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計		
				製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業		
				2019 / 12月	0	20	-9	7	4	
				2020 / 3月	-8	8	-15	-1	-4	
			変化幅	-8	-12	-6	-8	-8		